



試験結果報告書

申請者 (所在地)	株式会社アイダ (東京都足立区椿2-20-9)	
性能及び評価試験 の項目及び細目	項目：その他 細目：荷揚げバケツの性能試験	
実施した試験項目	荷揚げバケツの落下試験及び引張試験	
依頼申請提供品	X・O [®] 荷揚げバケツ NB型 ① NB-M φ240mm H29cm ② NB-L φ270mm H29cm ③ NB-LL φ320mm H32cm ④ NB-XL φ320mm H50cm ⑤ NB-XXL φ320mm H100cm ⑥ NB-XXXL φ320mm H150cm	
試験方法	試験規格・基準名	—
	主な試験装置	落下試験装置、横型引張試験機、万能試験機
	試験方法の概要	各試験サンプルに錘を入れて自由落下させ、試験サンプルにかかる衝撃荷重をロードセルによって測定する。その後、落下後の試験サンプルの状態を確認する。また、試験サンプル全体と、試験サンプルを構成するベルトの強さを測定する。
受付番号 (受付年月日)	第J2695号 (2019年12月23日)	
試験実施場所 (協会外の場合)	—	
試験報告書 (報告書項数)	別紙試験結果書のとおり(試験結果書1頁、添付資料等3頁)	
付記事項	—	

2019年 12月 25日

埼玉県狭山市広瀬台2丁目16番26号

公益社団法人 産業安全技術協会

会長 榎本 克哉



試験結果書

各試験サンプルに錘を入れて自由落下させ、その際、試験サンプルにかかる衝撃荷重をロードセルによって測定する。また、落下試験後の試験サンプルの状態を確認する。次表に試験結果を示す。

番号	錘の質量(kg)	落下高さ(m)	試験結果
①	45	1.2	衝撃荷重:10.06kN (1025kg の荷重に相当) 状態：破断せず、錘を保持する。
②	45	1.2	衝撃荷重:11.95kN (1218kg の荷重に相当) 状態：破断せず、錘を保持する。
③	45	1.2	衝撃荷重:10.06kN (1025kg の荷重に相当) 状態：破断せず、錘を保持する。
④	45	1.2	衝撃荷重:11.33kN (1154kg の荷重に相当) 状態：破断せず、錘を保持する。
⑤	45	1.2	衝撃荷重:10.45kN (1065kg の荷重に相当) 状態：破断せず、錘を保持する。
⑥	45	1.2	衝撃荷重:9.38kN (956kg の荷重に相当) 状態：破断せず、錘を保持する。

引張試験機によって、試験サンプルの取手部と底部のベルトを引張り、試験サンプル全体の強さを測定する。また、ベルトの両端を掴み、ベルト単体の強さを測定する。次表に試験結果を示す。

試験項目	試験結果
全体の引張試験	18.44kN でベルトが破断する。
ベルトの引張試験	6.40kN で滑りのため計測不能。

試料の写真

・ NB-M ϕ 240mm H29cm



・ NB-L ϕ 270mm H29cm



試料の写真

・NB-LL ϕ 320mm H32cm



・NB-XL ϕ 320mm H50cm



試料の写真

・NB-XXL φ 320mm H100cm



・NB-XXXL φ 320mm H1500cm

